

# 平成21年2月期 第1四半期財務・業績の概況

平成20年6月27日

上場会社名 株式会社しまむら  
コード番号 8227

上場取引所 東京証券取引所 市場第一部  
本社所在地 埼玉県

(URL <http://www.shimamura.gr.jp/>)

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野中正人  
問合せ先責任者 (役職名) 企画室長 (氏名) 養田茂樹

TEL (048)652-2111

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年2月期 第1四半期の連結業績 (平成20年2月21日～平成20年5月20日)

### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年2月期 第1四半期	97,224	0.5	7,624	△7.8	7,806	△7.2	4,405	△7.9
20年2月期 第1四半期	96,701	8.6	8,265	13.8	8,408	17.5	4,783	20.8
20年2月期	410,970	—	35,003	—	35,864	—	19,841	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
21年2月期 第1四半期	120	54	—	—
20年2月期 第1四半期	130	87	—	—
20年2月期	542	90	—	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
21年2月期 第1四半期	220,116	157,282	157,282	157,282	71.2	4,288	29	
20年2月期 第1四半期	212,657	145,078	145,078	145,078	67.9	3,953	81	
20年2月期	210,831	154,794	154,794	154,794	73.1	4,219	97	

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
	第1四半期末	
(基準日)	円	銭
20年2月期 第1四半期	—	—
21年2月期 第1四半期	—	—

## 3. 平成21年2月期の連結業績予想 (平成20年2月21日～平成21年2月20日)

平成20年4月3日公表の平成20年2月期 決算短信において発表いたしました業績予測に、変更はありません。

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国の経済は、原油価格の高騰や諸原材料価格の値上がりにより減速傾向が続いています。各企業の収益は高水準を維持しながらも伸び悩んでおり、ガソリン価格や食料品の値上がりによる消費者の生活防衛意識の高まりにより、消費動向は全般的に弱含みで推移しております。

衣料品の消費に影響を及ぼす天候は、東日本で4月、5月度の降水量が平年を大きく上回り、ゴールデンウィーク明けに強い寒気が南下するなど、季節用品を販売する業界にとっては非常な逆風となりました。

このような状況のもと、当社グループは積極的な出店を進め、全事業で17店舗を開設して、総店舗数は1,478店舗となりました。

主力のしまむら事業では、トレンドファッションのコーディネート提案を引き続き強化するとともに、商圏の販売動向に合わせた売場の変更と、品揃えの幅の拡大を進めております。新規に9店舗を開設し1,086店舗となり、加えて既存3店舗の建替えと、店舗年齢の高い31店舗で大規模な改装を行ない最新の標準型店舗として活性化を図りました。また、商品価格の信頼性を高めるためレジでの割引販売を控え低価格商品の打ち出しに変更し、商品管理レベルの向上を図った結果、値下率は前年同期比0.5ポイント改善しましたが、ガソリン価格の高騰による来店客数の減少が響き当期の既存店売上高は前年同期比4.4%減、全店売上高は同±0.0%と不本意な結果となりました。

ベビー・トドラー用品を専門に扱う**パースデイ**事業は、仕入れ部門を衣料品と雑貨の2部体制とし、商品調達力を強化しました。新規2店舗の開設を加えた全86店舗の売上高は前年同期比6.1%増となりました。

女性のファッション雑貨を扱う**シャンブル**事業も、仕入れ部門を衣料品とインテリア・雑貨の2部体制とし、商品調達力の強化を進めています。新規1店舗の開設を加えた全64店舗の売上高は前年同期比0.9%増となりました。

女性向けのカジュアルシューズを扱う**ディパロ**事業は、新規に1店舗を開設し7店舗の営業で、売上高は前年同期比10.7%増となりました。引き続き新たなビジネスモデルの確立に向け、基礎作りを進めてまいります。

若者向け事業の子会社**アペイル**は、新規に4店舗を開設して207店舗となりました。天候不順、消費の減速もあり、既存店売上高は前年同期比3.6%減、全店売上高は同4.5%増となりましたが、しまむら事業との調達ルートや情報の共有化を進め、前期実施した商品部門と品番の再編成により商品管理レベルが向上した結果、粗利率は前年同期に比べ1.1ポイント改善することができました。

台湾で事業展開する**思夢楽**は新規の開設はなく既存の28店舗の営業となりました。梅雨による天候不順の影響で全店売上高は前年同期比5.7%減（NT\$ベース）となりましたが、現地での商品調達力、管理レベルの向上により、粗利率は前年同期に比べ4.5ポイント（NT\$ベース）改善しました。

以上の結果、当第1四半期の連結業績は、売上高97,224百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益7,624百万円（同7.8%減）、経常利益7,806百万円（同7.2%減）、四半期（当期）純利益4,405百万円（同7.9%減）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比べ、9,284百万円増加し、220,116百万円となりました。たな卸資産、買掛金が前連結会計年度末と比べ、それぞれ増加しておりますが、これは季節要因による変動です。また、負債は6,796百万円増加し、62,833百万円となりました。

株主資本は、前連結会計年度末と比べ、利益剰余金の増加により2,210百万円増え、155,250百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年2月期の連結業績予想につきましては、平成20年4月3日公表の平成20年2月期決算短信において発表いたしました業績予測に、変更はありません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準は法定実効税率を基本とした年間予測税率によって計算しております。金額が僅少なものにつきましては、一部簡便な手続を採用しております。

#### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

## 5. (要約) 四半期連結財務諸表

## (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成 20 年 2 月期 第 1 四半期末)	当四半期末 (平成 21 年 2 月期 第 1 四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成 20 年 2 月期 末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	25,578	24,114	△1,463	△5.7	23,449
2. 売掛金	442	505	62	14.1	859
3. たな卸資産	34,145	37,345	3,199	9.4	31,300
4. 繰延税金資産	1,674	1,368	△305	△18.3	1,368
5. その他	4,671	5,945	1,273	27.3	4,289
流動資産合計	66,512	69,278	2,765	4.2	61,266
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	56,955	61,264	4,309	7.6	61,313
(2) 土地	28,645	29,789	1,143	4.0	29,797
(3) その他	6,247	4,614	△1,633	△26.1	3,790
有形固定資産合計	91,848	95,669	3,820	4.2	94,900
2. 無形固定資産	990	1,018	27	2.8	1,014
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	7,068	7,483	415	5.9	6,877
(2) 繰延税金資産	161	58	△102	△63.4	167
(3) 差入保証金	40,611	41,355	744	1.8	41,724
(4) その他	5,637	5,451	△185	△3.3	5,079
(5) 貸倒引当金	△173	△200	△27	15.9	△200
投資その他の資産合計	53,305	54,149	844	1.6	53,649
固定資産合計	146,144	150,837	4,692	3.2	149,564
資産合計	212,657	220,116	7,458	3.5	210,831

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成 20 年 2 月期 第 1 四半期末)	当四半期末 (平成 21 年 2 月期 第 1 四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成 20 年 2 月期 末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 買掛金	29,521	26,289	△3,231	△10.9	19,390
2. 短期借入金	3,000	—	△3,000	—	—
3. 未払法人税等	3,608	3,340	△267	△7.4	7,571
4. 賞与引当金	2,756	2,961	205	7.5	1,480
5. 役員賞与引当金	20	17	△2	△11.7	71
6. その他	7,232	7,344	111	1.5	6,791
流動負債合計	46,138	39,954	△6,184	△13.4	35,306
II 固定負債					
1. 長期借入金	18,000	20,000	2,000	11.1	18,000
2. 繰延税金負債	824	84	△739	△89.7	—
3. 退職給付引当金	1,142	1,237	95	8.4	1,198
4. 役員退任慰労引当金	821	897	75	9.2	873
5. 定時社員退職功労引当金	370	415	45	12.2	401
6. その他	281	244	△37	△13.4	257
固定負債合計	21,440	22,878	1,438	6.7	20,730
負債合計	67,578	62,833	△4,745	△7.0	56,036
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	17,086	17,086	—	—	17,086
2. 資本剰余金	16,808	16,808	—	—	16,808
3. 利益剰余金	108,367	121,545	13,177	12.2	119,332
4. 自己株式	△171	△189	△18	10.5	△187
株主資本合計	142,091	155,250	13,159	9.3	153,040
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	2,493	1,552	△941	△37.7	1,265
2. 為替換算調整勘定	△84	△85	△0	0.9	△83
評価・換算差額等合計	2,409	1,467	△941	△39.1	1,181
III 少数株主持分	578	564	△13	△2.3	572
純資産合計	145,078	157,282	12,203	8.4	154,794
負債純資産合計	212,657	220,116	7,458	3.5	210,831

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成 20 年 2 月期 第 1 四半期)	当四半期 (平成 21 年 2 月期 第 1 四半期)	増 減		(参考) 前期 (平成 20 年 2 月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	96,701	97,224	522	0.5	410,970
II 売上原価	66,122	66,107	△15	△0.0	282,455
売上総利益	30,579	31,117	538	1.8	128,515
営業収入	165	173	8	5.0	993
営業総利益	30,744	31,291	546	1.8	129,508
III 販売費及び一般管理費	22,479	23,667	1,187	5.3	94,504
営業利益	8,265	7,624	△640	△7.8	35,003
IV 営業外収益	211	265	54	25.6	1,432
V 営業外費用	68	83	14	21.5	572
経常利益	8,408	7,806	△601	△7.2	35,864
VI 特別利益	—	179	179	—	16
VII 特別損失	142	303	161	112.9	1,313
税金等調整前四半期(当期)純利益	8,265	7,681	△583	△7.1	34,567
法人税、住民税及び事業税	3,483	3,266	△216	△6.2	14,732
少数株主利益(損失は△)	△0	10	11	—	△6
四半期(当期)純利益	4,783	4,405	△377	△7.9	19,841